

あさか訪問通信

廃用症候群 サルコペニア



R3.4月号

廃用症候群とは、病気や怪我などの治療の為、長期にわたり安静状態を継続することにより、**身体能力の大幅な低下**や**精神状態に悪影響もたらす症状**のことを言います。例えば、骨折した箇所をギプスで固定しておくと、ギプスを外したときに思い通りに動かせなくて驚いたという経験のある人はいませんか？高齢者の場合、病気や怪我で入院するなどして**長期間寝たきり状態**になると、**廃用症候群**を発症しやすくなります。加齢や疾患により、筋量の低下すること「**サルコペニア**」と言います。



病名	症状
筋萎縮	筋肉が痩せて衰える
関節拘縮	関節の動きが悪くなる
骨萎縮	骨がもろくなる
心機能低下	心不全・狭心症・心筋梗塞のリスク高くなる
起立性低血圧	急に立ち上がるとふらつく
誤えん性肺炎	唾液や食べ物が誤って肺に入り起きる肺炎
血栓塞栓症	血管に血のかたまりがつまる
うつ状態	精神的に落ち込む
せん妄	軽度の意識混濁、目に見えないものが見えたり混乱した言葉や行動
見当識障害	今はいつなのか、場所どこなのかわからない
圧迫性末梢神経障害	寝ていることにより神経が圧迫され、マヒが起きる
逆流性食道炎	胃からの内容物が食道に逆流し、炎症がおきる
尿路結石・尿路感染症	腎臓、尿管、ぼうこうに石ができる・細菌感染が起きる
じょくそう	床ずれといわれる皮膚の傷ができる



サルコペニアを起因として**筋力の低下・活動の低下**などに繋がってきます。脳卒中などのケースを除き、**フレイルの状態から、段階的に寝たきり・要介護状態**になると考えられます。

歯科の領域でも、**口腔機能低下**を**早期発見**し生活環境を変えることが**フレイルの予防**に繋がります。